

各報道機関

球磨川豪雨災害・川辺川ダム問題 ご担当各位

2024年3月21日

マスコミリリース

公共事業チェック議員連盟と河川・魚類専門家

ダム予定地と球磨川流域を視察

25日 八代河川国道事務所にも申入れ

清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会 共同代表 岐部 明廣

いつも当団体の活動に格別のご理解、ご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

さて、来る3月24日(日)～25日(月)の2日間、「**公共事業チェックとグリーンインフラを進める会**」議員連盟(会長:篠原孝衆院議員、事務局長:山田勝彦衆院議員)の議員2名、および研究者2名が**川辺川ダム予定地と球磨川流域被災地を視察**します。

これは、昨年12月に発足した「公共事業チェック～議員連盟」の九州地区ダム建設計画地現地視察として行うもので、23日に長崎県石木ダム予定地を訪問後、24日から2日間に渡り、五木村～人吉～球磨村・坂本～八代を視察し、現状と課題について現地調査するものです。

また、**25日(月)14時から、国交省八代河川国道事務所を訪問**し、豪雨災害検証と川辺川ダムに関する質問を行います。

なお、今回は**河川工学者**である**今本博健・京都大学名誉教授**、および**魚類学・保全生物学が専門**である**細谷和海・近畿大学名誉教授**も同行されます。細谷氏は球磨川流域初訪問です。

別紙が行程表となります。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひご取材にご協力賜りますよう、ご案内申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

■本件問合せ先:

手渡す会事務局長 木本雅己

電話 090-1873-4158

「公共事業チェックとグリーンインフラを進める会」議員連盟
九州地区ダム建設計画地現地視察と現地での交流勉強会 行程(案)

■趣旨

2023年12月5日議員連盟「公共事業チェックとグリーンインフラを進める会」(代表:篠原孝衆議院議員、代表代行:嘉田由紀子参議院議員、事務局長:山田勝彦衆議院議員、幹事:大河原雅子衆議院議員)が再発足しました。1900年代初頭の発足当初より先輩たちが強い関心をもっていたのはダム問題と河川環境問題であり、その現在の代表的事業が九州地域で進んでいます。まずはこの地域を訪問し、現地での意見を伺い、国会での国土交通政策や環境政策に貢献しようと考えております。

そこで今回、長崎県石木ダム地域と熊本県川辺川ダム地域の訪問と現地での聴き取りと勉強会を下記の日程で進めたいと事務局として計画しております。できるだけ多くの皆さまに参加いただけるよう、企画へのご意見と日程調整などご意見をお寄せください。(なお蛇足ながらこの議連は超党派であり、政治活動、選挙活動とは無縁であります)

代表:篠原孝衆議院議員
代表代行:嘉田由紀子参議院議員
事務局長:山田勝彦衆議院議員

■日程:2024年3月23日(土)~25日(月)

■訪問先:石木ダム予定(長崎県川棚町)、川辺川ダム予定地・球磨川流域(熊本県)

■参加者: 嘉田 由紀子 参議院議員

山崎 誠 衆議院議員(3/24~3/25)

野田 国義 参議院議員(3/23 石木のみ)

今本 博健(京都大学名誉教授、河川工学)

細谷 和海(近畿大学名誉教授、魚類学・保全生物学)

宮本 博司(元国交省職員、3/23 石木のみ)

その他、水源開発問題全国連絡会メンバー5名

■行程:

3/23 午前 長崎空港から石木ダム予定地訪問

午後 集会「清流をまもる 未来をまもる~石木ダム 本当に必要?~」(川棚町公会堂)

3/24 午前 八代・人吉経由で五木村へ移動

午後 五木村水没予定地~奇跡の吊り橋~ダム予定地~相良村柳瀬~球磨川合流点
~人吉市山田川

夜 くま川ハウスで市民グループと勉強会

3/25 人吉市街地被災地~球磨村渡(千寿園跡)~球磨村神瀬(嵩上げ)~瀬戸石ダムと豪
雨災害~荒瀬ダム撤去跡~道の駅坂本~坂本町「みちのけ、」で昼食・勉強会

14時 国土交通省八代河川国道事務所訪問

(事前送付した別紙質問項目について質疑)

15時半 終了解散

■その他:3/24-25はマイクロバスで移動。手渡す会(木本・黒田)、岩崎哲秀(神瀬)、瀬戸石ダムを撤去する会(南・土森)、つる詳子が案内解説します。

3月25日(月)14時～15時 国交省八代河川国道事務所訪問

事前に議員連盟側から提出している質問

- ① 現在計画中の川辺川ダムは「治水専用」ときいているが、多目的ダムとの決定的な違いは何か。
- ② 2020年7月4日の球磨川豪雨時の「大橋問題」について
 - ・午前9時すぐにどっと大きな洪水が流れ込んできた事実は認めるか、否か？
 - ・九日町地点の洪水は右岸と左岸とバランスよく流れたのか？なぜ、「しぶき水が流れたただけだから測定できない」という主張を国はくりかえしてきたのか？
- ③ 山田川問題について、出町橋地点が一番早く氾濫したという住民の証言をどう確認したか？
- ④ 万江川問題について、万江橋地点の氾濫は9時40分としているが、その判断根拠は何か？山江村内での万江川の御溝川取り入れ口付近で朝6時すぎにおきた氾濫は住民による動画映像があるが、この氾濫を球磨川本流からのバックウオーター現象として説明できるのか？
- ⑤ 第2橋梁が朝7時半に流出した理由は何か？
- ⑥ 瀬戸石橋流失の要因は何か？
- ⑦ 地質とダムに関する問題で、環境影響評価で地質と放流に関する問題を無視しているのはなぜか？瀬目トンネル問題と併せて説明してください。

以上

■本件問合せ先:

手渡す会事務局長 木本雅己

電話 090-1873-4158